

# 1996年度／平成8年度（平成8年4月～平成9年3月）



## 役員

部長：丸山 徹  
師範：岡野 功、安藤 勝英、朝飛 大  
監督：清水 正敬  
主将：高野 明  
主務：丸山 隆之  
4年生：西村 嘉晃、永井 航生、芦田 一郎、  
田中 香輔  
学連委員：芦田 一郎  
体育会常任委員：高野 明、勝呂 啓太  
副務：小田 和哉、近藤賢二郎  
日吉高コーチ：島本浩一郎、楠原 雄三  
志木高コーチ：小針 純朗、松宮 行良  
藤沢高コーチ：田中 香輔  
女子高コーチ：  
普通部コーチ：米井 慎一  
中等部コーチ：瀧本 大成  
幼稚舎コーチ：米井 慎一、板垣 宏

## 若き血に燃ゆる者

高野 明

「陸の王者慶應～」「陸の王者慶應～」「陸の王者慶應～」…∞

学生時代、いったい何回この「若き血」を熱唱しただろうか？今でも柔道部の同期、体育会の同期と集まると必ず「若き血」の熱唱となってしまう。目を閉じれば、昨日のことのようにあの熱かった現役時代が思い出される。やはり、「若き血」を歌う時で最も印象深いのが慶早戦の時、今まさに試合が始まろうとする直前に部員全員で集中力を高める時に歌う「若き血」である。初めて1年生で慶早戦に出たとき、正直言って異様な空気を感じた。小さい時から柔道をやってきて多くの試合に出てきてが、試合の前にこんなに気持ちが高まるのは初めての経験だった。今までの辛い稽古や様々な出来事が一瞬の間に走馬燈の様に頭を駆けめぐり、次ぎの瞬間「自分は誰と試合をしても絶対負けない」といった強い暗示がかかったような一種独特な精神状態である。「武者震い」を人生で初めて経験したのもその時であった。

「陸の王者慶應～」ついに、自分にとって最後の慶早戦を迎えた。大学に入って4年間、本当に柔道漬けの日々を送ってきた。これが最後だ。腕が折れようが、どんなに苦しくなっても絶対最後まで闘ってやる。何が何でも早稲田に勝ってやる。そんな思いが次から次へと頭に浮かんでは消えた。きっとみんなも同じ思いであろう。当時主将だった私が部員に声を掛けた。

「いくぞ～」

全てをかけて臨んだ慶早戦。結果は惨敗だった。しかし自分が4年間慶應柔道部でやってきたことに悔いはなかった。むしろすがすがしい気持ちでいっぱいだった。残念ながら結果は出せなかったが、すばらしい先輩、同期、後輩に巡り会えた。4年間本当に充実した時間を過ごせた。

当然、その夜「若き血」をまたまた大熱唱していた。歌っている時、何故か涙が溢れてきた。悔し涙もあるが、部員みんなに対する感謝の涙であった。みんなよくついてくれた本当に有り難う。自分が果たせなかつた「打倒早稲田」を何が何でも果たしてもらいたい。そう思えば、思うほど涙が止まらなかつた。

現役時代の思い出は今でも「若き血」を歌うと鮮明に思い出される。特に慶早戦のことは今でも忘れない、また忘れることもできない思い出である。

## 吾輩は猫である

丸山 隆之

我輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生まれたか頓と見当がつかぬ。何でも酒臭いじめじめした所でニヤーニヤー泣いていた事だけは記憶している。我輩はここではじめて柔道部員というものを見た。然もあとで聞くとそれは主務という柔道部員中で一番獰惡な種族であったそうだ。この種族は我輩に石を投げてくる。主務の二輪車の上で昼寝をするのが原因らしい。我輩は報復として主務部屋の前の廊下で糞をした。非常に強い匂いを発したので主務はたいそう慌てたようだ。しかし、柔道部員達は我輩の存在に気付かず、学連という職業の柔道部員の仕業と断定してしまった。人間が廊下で糞をするとは知らなんだ。この学連という種族は演技の才能に定評がある。また、時刻を尋ねると秒単位まで教えたり、太鼓の稽古に勤しんだり、原液だけといいちこしたり…もとい、現役だけど一郎したりとユーモアのセンスにも溢れ、静岡出身の柔道部員を朝から深夜まで喜ばせていた。また、朝目覚めの悪い柔道部員に、流經鍋より熱い味噌汁をかけて目覚めを促す気遣いも見せる。かけられた柔道部員は人の話しに耳を貸さないことから恐竜と呼ばれて恐れられていたが、この時ばかりは速やかに目を覚ました。一皮剥けたようである。恐竜という種族は、脳汁、青汁、ポカリスエットと云った汁物が苦手で、アルコールの匂いを嗅いだだけで冬眠してしまう。恐竜が冬眠すると、馬と仲良しの柔道部員が介抱する。この柔道部員は車に乗っており、石油を撒いて走る車と揶揄されていたが、実は冷却水も一緒に撒いていたことを知るのは吾輩だけである。最近は環境に配慮しているわけではないが、制動機のない自転車に凝っているらしい。

ここで一寸、我輩の家の主の話をしよう。この主、皆から主将と云われて慕われているが、何にでもよく手を出したがる。お香を焚いたり、ドリッピーしたり、仏国の温泉に行こうとしたり。しかし、気の毒なことには、どれもこれも物になっておらん。だが大変な努力家であり、夜な夜な立って寝たり、怖い話したり、わっしょいしたりした結果、4年生になると見違えるほどの成長を遂げた。その隣の部屋には永井ちゅうと云う種族が居る。我輩は猫ながら時々考える事がある。人間と生まれたら永井ちゅうとなるに限ると。この種族は、便所に行く、麦酒を飲む、枝豆を煮る、それ以外の時間は必ず寝床で横たわっている。こんなに寝ていて勤まるものなら猫にでも出来ぬ事はない。それでも本人に云わせると永井ちゅう程つらいものはないそうで、広島戦を観なくてはならない、ラッキーの世話をしなくてはならない、一日壱〇時間以上寝なくてはならないetc、大忙しだると不平を鳴らしている。天下泰平、天下泰平。(以下次号)

# 試合記録

## ■第15回 東京学生柔道体重別選手権大会 平成8年5月19日 日本武道館

1回戦	高野 明	4年	○	上四方固め		山田晃久	玉川大
2回戦	高野 明	4年		判定	●	村山登	中央大
1回戦	丸山 隆之	4年	⊖	小内巻き込み		井上照康	拓殖大
2回戦	丸山 隆之	4年		大内刈り	⊖	宮田達浩	帝京大
1回戦	永井 航生	4年		横四方固め	○	佐々木義隆	東京学芸大
2回戦	田中 香輔	4年	⊖	背負投げ		高橋晴寛	東京工業大
3回戦	田中 香輔	4年		内股	○	森岡雄次	東京農業大
1回戦	小針 純朗	3年	○	内股		中山慎吾	工学院大
2回戦	小針 純朗	3年		内股	○	関本浩康	帝京大
2回戦	島本浩一郎	3年		大外刈り	○	斎藤史生	法政大
2回戦	小田 和哉	3年		不戦勝		門野幹生	明治学院大
3回戦	小田 和哉	3年		払い巻き	⊖	福田敦也	専修大
2回戦	松宮 行良	2年		内股	○	佐藤亮	日大
2回戦	池上 学	2年		小外刈り	○	深井智隆	亜細亜大
1回戦	瀧本 大成	2年	⊖	背負投げ		林龍太郎	成城大
2回戦	瀧本 大成	2年		判定	●	田辺義輝	東京農業大
1回戦	板垣 宏	2年		小内刈り	⊖	小野沢雄三	創価大
1回戦	守哲 司	2年		内股	○	逸見敏也	東洋大
1回戦	助川 忠臣	1年		横四方固め	○	高山一樹	明治大

## ■第45回 東京学生柔道優勝大会 平成8年9月8日 日本武道館

2回戦	本 勢	0	-	7	帝京大学
	高野 明	4年	合せ技	○	丸山昌孝
	笹野 誠一	1年	小外刈り	○	浅井清照
	島本浩一郎	3年	袖釣込み腰	⊖	左近光徳
	丸山 隆之	4年	内股	○	木下誠
	池上 学	2年	払い巻き	○	関本道玄
	小田 和哉	3年	大内返し	○	佐野信幸
	小針 純朗	3年	袈裟固め	○	小宮大輔

## ■第48回 早慶対抗柔道戦 平成8年10月10日 早稲田大学柔道場

本 勢		-	○	早稲田大学	11人残し 優秀選手：板垣宏、楠原雄三、 笹野誠一
板垣 宏	2年	○	上四方固め		小暮勇
板垣 宏	2年		合せ技	○	新井俊見
高沼 宣浩	1年		内股すかし	⊖	新井俊見
笹野 誠一	1年	○	大外刈り		新井俊見
笹野 誠一	1年	○	小外刈り		藤原慎介
笹野 誠一	1年	○	合せ技		高野陽平
笹野 誠一	1年	○	合せ技		島崎浩一
笹野 誠一	1年		背負投げ	⊖	竹本司
楠原 雄三	2年	○	上四方固め		竹本司
楠原 雄三	2年		縦四方固め	○	五島孝有
山口 仁	3年		合せ技	○	五島孝有
大滝 誠	1年		大外刈り	○	五島孝有
島本浩一郎	3年	⊖	足払い		五島孝有
島本浩一郎	3年		合せ技	○	日野貴文
勝呂 啓太	3年		肩固め	○	日野貴文
小針 純朗	3年		引分け		日野貴文
守哲 司	2年		内股	○	山口勝弘

松宮 行良	2年	合せ技	○	山口勝弘
池上 学	2年	引分け		山口勝弘
田中 香輔	4年	袈裟固め	○	永岡祐一
瀧本 大成	2年	小外刈り	○	永岡祐一
近藤賢二郎	2年	体落し	○	永岡祐一
助川 忠臣	1年	裏投げ	○	永岡祐一
小田 和哉	3年	腕拉ぎ十字固め	○	永岡祐一
永井 航生	4年	大外刈り	○	永岡祐一
丸山 隆之	4年	内股	○	永岡祐一
高野 明	4年	大外刈り	⊖	永岡祐一 工藤大樹 青井渉 村瀬秀行 浜田知成 中島康介 浜田宜志 徳久幸太郎 徳山義浩 栗山行雄 松下尚樹

## ■第38回 東京学生柔道二部優勝大会 平成8年10月27日 講道館

1回戦	本 勢	4	-	1	東京経済大学
	高沼 宣浩	1年	引分け		町 屋
	高野 明	4年	⊖ 小内巻き込み		小 川
	笹野 誠一	1年	○ 内股		松 本
	池上 学	2年	○ 縦四方固め		(不明)
	丸山 隆之	4年	引分け		原 田
	松宮 行良	2年	○ 大内刈り		大 西
	小針 純朗	3年	扯腰	○	吉 田
2回戦	本 勢	③	-	3	東京大学 内容勝ち
	丸山 隆之	4年	引分け		原
	島本浩一郎	3年	背負投げ	⊖	田 中
	小針 純朗	3年	○ 内股		亀 田
	笹野 誠一	1年	合せ技		瀧 本
	松宮 行良	2年	小外刈り	○	西 森
	池上 学	2年	横四方固め	○	桑 形
	高野 明	4年	⊖ 小内巻き込み		元 木
3回戦	本 勢	1	-	4	創価大学 優秀選手： 笹野誠一
	笹野 誠一	1年	○ 腕拉ぎ十字固め		赤 沼
	島本浩一郎	3年	内股	○	高橋 (明)
	小針 純朗	3年	合せ技	○	高橋 (高)
	丸山 隆之	4年	不明	⊖	淵 崎
	池上 学	2年	足払い	○	中 村
	松宮 行良	2年	引分け		手 島
	高野 明	4年	引分け		植 松

# 故 羽鳥輝久さんの死を悼む

## 柔友会名誉会長 水谷英男（昭和二十二年卒）

一月二十八日わが敬愛する羽鳥先輩が急性の心不全で忽然と逝かれました。誠に痛恨に堪えません。家族にも知人の方達にも元気な面影を残したまま一瞬の間に昇天されいかにも人に世話をかけることを嫌っていた先輩らしい散りかたでした。享年七十六歳です。

最初に思い出の縁として略歴をご紹介いたします。

昭和七年（十二歳）慶應義塾幼稚舎六年生の時より慶應義塾三田綱町道場で稽古を始める。

昭和十年（十五歳）飯塚國三郎十段の内弟子となり、五月講道館初段、十一月式段に昇進。

昭和十二年（十七歳）慶應義塾大学予科入学、十一月に四段となる。

昭和十三年（十八歳）日独伊防共協定記念親善学生武道使節団一員として日本政府より独伊に派遣される。ヒットラー、ムッソリーニにも慰らいを受ける。

昭和十四年（十九歳）十月五段となる。

昭和十七年（二十二歳）十月卒業と同時に東京海上火災株入社、社会人となる。

昭和十八年九月陸軍に応召さる。

昭和二十二年（二十七歳）一月六段となり十月東日本柔道選手権大会優勝、十二月水谷美貴枝と結婚。

昭和二十三年～二十六年（二十八歳～三十一歳）にかけて全日本選手権大会に連続して出場、第二回目では当時無敵といわれた木村政彦七段と延長二回に及ぶ熱戦を戦った。二十六年で第三位を記録。

昭和二十七年（三十二歳）七段、昭和四十二年（四十七歳）八段、平成四年（七十二歳）九段。以上でありますがこの中で注目されることは、(一)幼年時代早くから柔道を始め、小学校から大学迄一貫して慶應義塾に学んだ生粋の慶應義塾柔道部手作りの柔道選手で、十九歳で五段という稀にみる上達をしていること。(二)昭和十七年に卒業して一般社会人となり会社勤めの傍ら稽古し戦後の昭和二十六年三十一歳迄現役選手で全日本選手権を始め、東西対抗、国体等で重鎮選手として柔道専門の現役選手と伍して優勝を争う力を維持し続けたこと、(三)以上により講道館より厚く遇されアマチュア柔道家として破格の九段の栄誉を受けたこと、であります。

昭和十三年より身近に接し、指導訓練を受けた私は之等本人の残した古い資料を涙しながら読み、改めてその偉大さに胸を打たれる思いであります。本人の求道的な精進、稽古と共に飯塚、中野、清水各師範、大正・昭和を飾った母校の先輩方、本人同時代の仲間の方々の合作に成る慶應義塾柔道部の結晶と誇らしく思います。筆を進めて試合、稽古での姿勢に触れます。飽く迄自然体の姿勢を崩さず肥ってはいても身中に芯のある捌きの良い速さのある柔道でした。釣込腰、小内刈得意技としましたが本人の言葉「得意技は相手もよく研究し、掛ってくるので試合に於ては相手の動きに応じてその場で自然反射で出る技を幾つか持たねばならない。得意技に固執し頼るものは長保ちしない」と表れています。事実各種記録では左右の背負、大内、大外、払腰等多彩がありました。

稽古では道場一杯を使って大きく動き、力や身体を使うちまちましたものでなく、豪快に投げ、弱い相手にも舞うように大きい受身をとり、相手に自信と醍醐味を持たせるような動きでした。講道館や警察の道場で本人との稽古を経験された方々は記憶に残っておられることでしょう。

柔道に対する信条は、求めるものは自然体の柔道、一本とて初めて決る勝敗、潔よい進退、相手との友情であります。傍からの過剰な声援、勝者のガッツポーズ等は最も嫌うところでした。良く母校の柔道部員への言葉で「柔道部の生活は部員が学生時代を楽しく思い出深く過ごすことが最大目的であり、その副産物として心身の鍛錬、団体生活の訓練、生涯の友が出来るということにある。柔道が強くなる、上手になるは部生活をまとめる為の一つの要素に過ぎない、人には夫々の持つ素質、体力、環境の違いがあるのだから或る条件下で俺は最善を尽してやれるだけの努力をしたという自信と満足感を持つことが出来ればそれで充分だ」によく表れております。このような考え方でしたので最近のように試合数が多く試合稽古になりがちな稽古方法や勝敗のはっきり決らない点数稼ぎの審判法に違和感を持ち、何年かは全日本選手権他大会にも興味を失った時期がありました。然し最近では自分を育ててくれたのは柔道であり講道館であるという想いから何か自分なりに提言を残していく心境になってきてているように見受けられました。それが果せずに逝ってしまったことは本人にとっても残念なことだったと思います。

私生活においては自分を律するのに大変きびしく、誠実、質素、几帳面な人でしたが、人間関係は温かく情が深く先輩、後輩を大事にし、家族親類も含めて結婚、就職等まめに世話をし、多勢の人からも慕われ絶えず中心的な存在でした。

以上故人の生い立ち、信条、人柄を簡単にご披露させていただきましたが、これを知己の方々の思い出の一助としていただければと存じます。

柔友会報71号より

the first time in the history of the world, the people of the United States have been called upon to determine whether they will submit to the law of force, or the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

It is now for them, once more, to decide, whether they will submit to the law of force, or the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.

The people of the United States have always been the wisest of all nations of the earth; and, as far as they have been called upon, have always decided in favor of the law of the Constitution.